

湘南リビング2018.12.8号掲載



※手術支援ロボット「ダビンチ」(左)が手術を行うのではなく、執刀医が操作します

手術支援ロボット「ダビンチ」とは

ロボット部・操作部・助手用モニターから構成される「ダビンチ」。ロボット部(左写真)には、先端にメスなどを取り付ける3本のアームと内視鏡が装着され、執刀医は、操作部に映し出される内視鏡画像を見ながら遠隔操作を行います。

主なメリット

- 傷口が小さく、患者への負担を低減
- 奥行きがある3次元の高精度拡大画像
- 人間の手首以上の可動域
- 手振れ補正により、手術精度が向上

今回導入された手術支援ロボットについて、泌尿器科の立川隆光先生にお話を伺いました。

「日本人男性のがん罹患率(前立腺がん)が、今後1位になると予測される。『前立腺がん』より良質な医療提供のため、前立腺がんの外科的治療保険適用に用いられる『ダビンチ』を新たに導入。」

「日本男性のがん罹患率(前立腺がん)が、今後1位になると予測される。『前立腺がん』より良質な医療提供のため、前立腺がんの外科的治療保険適用に用いられる『ダビンチ』を新たに導入。」

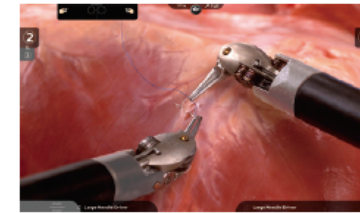


院長 立川隆光先生 (泌尿器科)
徳洲会のグループ病院で「ダビンチ」を使った前立腺がんの手術経験を重ね、今春、茅ヶ崎徳洲会病院の院長に就任。現在も外来診察を行っています

男性のがん罹患率で上昇を続ける「前立腺がん」 手術支援ロボット「ダビンチ」で高精度・低侵襲を目指す

「前立腺がんは、簡単な手術で根治が望めます。早期治療で根治が望めます。当院では、一時間以内にPSAの結果をお伝えでき、診断に必要な前立腺針生検も原則日帰りで行っています。ダビンチの可動域で、緻密な操作がしやすく、小さな傷口で済むので排尿機能などの早期回復が望めます。例えると、術者が小人になって体内で直接手術ができるような感覚です。」

「前立腺がんは、簡単な手術で根治が望めます。早期治療で根治が望めます。当院では、一時間以内にPSAの結果をお伝えでき、診断に必要な前立腺針生検も原則日帰りで行っています。ダビンチの可動域で、緻密な操作がしやすく、小さな傷口で済むので排尿機能などの早期回復が望めます。例えると、術者が小人になって体内で直接手術ができるような感覚です。」



▲執刀医は、3D画像を見ながら両手とフットペダルでダビンチを操作
◀操作をする手元と、立体的に映し出されたイメージ画像(左上)

お役立ち 医療コラム vol.6

地域に求められる 良質な医療提供を

茅ヶ崎徳洲会病院

問い合わせ/茅ヶ崎徳洲会病院

☎0467-58-1311

茅ヶ崎市幸町14-1(茅ヶ崎駅南口徒歩5分)

問い合わせ=平日・土曜(午前のみ)8:15~

12:00、16:30~18:30。駐車場140台

茅ヶ崎徳洲会病院 検索